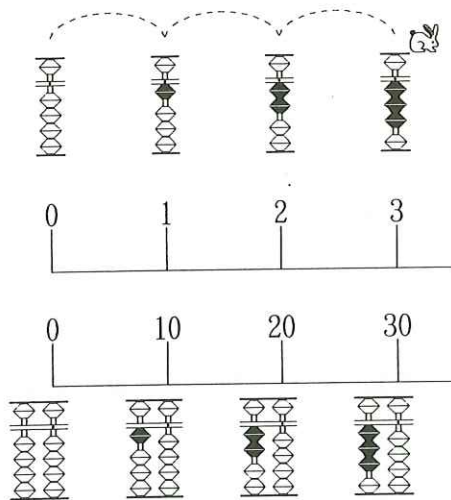


学習内容のお知らせ

保護者各位

平素はさんさん教育にご理解とご支援をいただきありがとうございます。
つきまして、お子様は、これからさんさんの手びき・長さの学習を始めますので、その基本的な内容をお知らせいたします。

◆ 測定の基礎



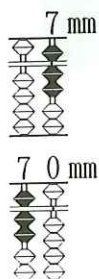
うさぎの跳んだ数をかぞえます。それを数直線に表します。そろばんでその橋渡しをすると、数直線がとても良く分かります。

数直線は数の理解を支えて理解されます。

1 ずつ増える数が、今度は 10 ずつ増えます。そろばんを

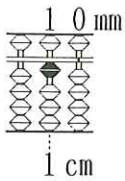
を使えば難しいことはありません。これが、10mm から 1cm を理解する基礎学習になります。

◆ ミリメートル

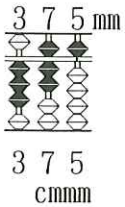


普遍単位の学習はミリメートルから始まります。さんさん教育の子どもたちは、60mmでも70mmでも楽に理解します。それは、珠算を学習した効果なのです。数直線をそろばんで理解し、その力で物差しによる測定が楽に出来て、計算もそろばんで出来るのですから、こんな素晴らしい学習方法は外にはありません。

◆ センチメートル



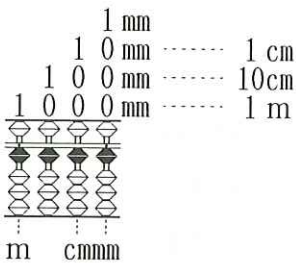
左の図のように、物差しの10mmと1cmが、数の単位に直結しないと、375mmは何cm何mmですか、言われても、すぐには答られません。これが出来る為には、測定することと数の単位の知識が一体化になることが必要です。



6年生にもなってこんなことが分からないの？、というお母さんがいますが、それは、運悪くこうした学習方法に出会なかったためで、子どもには何の罪もありません。

知識のまる覚えの学習は、忘れることも早く、数を構造として捕らえにくいのです。それは「論理数学的操作は行動そのものから派生する」ということに反しているからです。

◆ メートル



左の図を見てください。1, 10, 100, 1000と、各単位の関係が一目で分かります。これを、見取算や、読上算で学習しますと、直観的な数の把握と換算が出来るようになります。

大切なことは、これまでに獲得した、知識や技能の仕組みの中に、新しい知識や技能を組み込ませることです。それが知能になるのです。

長さは測定の基礎です

- ・秤は重さを長さに翻訳する道具です。
- ・メートルグラスは体積を長さに翻訳する道具です。
- ・時計は時刻・時間を長さに翻訳する道具です。

さんさん教育研究所

指定教場